

# 川崎市民石けんプラント 30年のあゆみ

「未来の子どもたちにより良い環境を残そうと」と合成洗剤をやめて「石けんを使う暮らし」を進める運動を展開。市民からの出資をもとに設立された石けん工場の歴史です。

- 1980年 神奈川県下で合成洗剤追放の署名運動スタート
- 1983年 市議会議員第1号誕生
- 1984年 川崎市長、市議会にて廃食油リサイクル石けん工場設立への協力を約束
- 1989年 川崎区扇町に、株式会社川崎市民石けんプラント設立  
工場運営団体「ワーカーズ・コレクティブサボン草」設立
- 1990年 リサイクル石けん「きなりっこ」発売開始  
職親制度受け入れ
- 1991年 プリン石けん、キッチン&クリーン発売
- 1993年 精神障がい者地域福祉作業所「サボン草」設立
- 1994年 川崎市職員厚生課へ1kg箱6,800個納入
- 1996年 トラック購入
- 1997年 隣接の日本製油爆発、炎上事故
- 2000年 設立10周年記念イベント開催
- 2002年 固形石けん：きなり固太郎開発
- 2003年 中期計画策定プロジェクト発足  
石けん運動と石けん工場の再構築検討
- 2004年 「きなりっこ」キャッチコピー、デザインリニューアル
- 2005年 NPO川崎市民石けんプラント設立  
(株)川崎市民石けんプラント解散・清算  
川崎区塩浜に工場移転、NPO法人へ事業移管
- 2007年 川崎市環境技術産学公民連携パイロット事業委託  
地域福祉作業所を  
地域活動支援センターサボン草に組織変更
- 2008年 環境技術産学公民連携公募型共同研究事業(～2009年)  
生活クラブ神奈川全体取り組み開始  
「きなりっこ」かわさき名産品の認定  
かわさきかえるプロジェクトとの連携



- 2009年 設立20周年記念イベント開催
- 2011年 川崎市高津区梶ヶ谷に、  
地域活動支援センターサボン草Ⅱ開設  
塩浜工場の粉碎室リフォーム  
工場内にバイオディーゼル燃料製造機を設置
- 2012年 環境省地域活動支援・連携促進補助事業  
「川崎まちなか油田コンソーシアム事業(～2013年)」
- 2013年 地域活動支援センターサボン草20周年イベント  
「サボン草二十歳(はたち)のお祝い」開催
- 2014年 トラックの新車導入  
小田原の西湘自動車との整備連携始まる  
粉碎機新規交換
- 2015年 液体石けん「きなり姫」誕生
- 2016年 3ヶ年中期計画作成
- 2017年 学校給食の使用済み油買取  
使い終わった油が廃棄物から  
有価物扱いとなり活用の幅が広がる  
プランジャーポンプ、アルカリギアポンプの交換  
「きなりっこ」に関する川崎市競争入札業者となる
- 2018年 かわさき市民公益活動助成金を受ける  
神奈川ネットワーク運動市民社会チャレンジ基金助成  
川崎プロボノ部に参加登録、  
運営課題についての解決サポート依頼  
かながわ生き生き市民基金事業指定助成プログラム  
「エラベル」の登録団体となり寄付募集活動  
かながわりサイクル製品認定
- 2019年 川崎市ふるさと納税返礼品登録  
「市民が作った石けんプラント30年の歴史と未来」DVD作成  
新ロゴマーク決定、パッケージデザインリニューアル  
30周年感謝の会「つなげよう！ひろげよう！」  
黒岩知事との「対話の広場」にて事例発表



石けんプラント  
歴代ワーカーズ!

1989 石けんプラント  
設立時

2005 塩浜に工場移転後

2019 30周年を迎える

